

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 1

基本方針	安全	(1) おいしい水の供給
実現方策		1) 水質管理の強化
計画に記載している 主な事業		・消毒副生成物(トリハロメタン等)の対策 水道水のおいしくない理由としてあげられている「塩素やカルキのにおい」やトリハロメタン等の消毒副生成物への対策を行う。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

- 給水栓での残留塩素濃度を把握し、浄水場出口の残留塩素濃度を低減することにより、全体的な残留塩素濃度の低減化を継続して行いました。しかし、浄水場出口の残留塩素濃度を低減するだけでは、水道水の安全性を損なう恐れがあるため、配水池に塩素を追加することにより、塩素の低減と安全性の確保の両立に努めました。
- 浄水処理の運転管理を強化することで、浄水水質の向上を図り、トリハロメタンの低減化に努めました。

《課題及び対応方針》

トリハロメタン類の低減化に向けて、天候等により左右される水道原水の水質にあわせ、常時適切な運転管理を行う必要があります。近年では、突発的な水道原水の水質悪化にともなう水道水のカルキ臭等の事例がありました。川上ダム完成に伴い、ゆめが丘浄水場に安定した水道原水の供給が期待できます。これにより、高度浄水処理が可能であるゆめが丘浄水場から他浄水施設への補給給水等を含め検討を行います。

今後も、トリハロメタン濃度の低減に向けて、状況に合わせた適切な浄水処理管理を行います。

《事業実施状況及び補足説明等》

水道水は、水道法施行規則により、給水栓水(蛇口)で残留塩素の濃度が0.1mg/リットル以上あるよう定められているため、残留塩素濃度を低減だけでなく、安全性の確保を確保することも重要です。現在、数値目標を達成する水準で安定的に管理ができています。

トリハロメタン類は水道水の塩素処理により、水中の残留有機化合物と残留塩素との反応により生成され、水質基準では総トリハロメタン濃度が0.1mg/リットル以下であるように定められています。トリハロメタン類の低減化に向けて、水道原水の水質にあわせ、常時適切な運転管理を行う必要があります。しかし、気温(水温)などの外的要因が大きく影響するため、管理や評価の方法について検討していく必要があります。

《数値目標の達成状況》

項目①	年間平均残留塩素濃度(mg/ℓ)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	0.30
	0.50	0.48	0.44	0.40	

【算出式】 水質検査地点年間平均値合計÷水質検査地点数

項目②	各検査地点年間最大総トリハロメタン濃度の 平均値(mg/ℓ)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	0.031
	0.027	0.027	0.025	0.023	

【算出式】 水質検査地点年間最大値合計÷水質検査地点数

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	0.42	0.34	0.34	0.34	0.34	0.31	0.336	0.32	0.30	
項目②	0.025	0.025	0.028	0.028	0.033	0.032	0.033	0.030	0.031	
	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)					
項目①										
項目②										

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

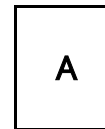
シート番号 2

基本方針	安全	(1) おいしい水の供給
実現方策		2) 水安全計画の策定
計画に記載している 主な事業		・水安全計画の策定 水源から蛇口に至るまでの過程において、さまざまなリスクを分析・評価して、リスクごとに必要な対応方法をまとめて運用する水安全計画を策定し、水質管理や水質事故への対応を適切に行う。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

平成30年度において実施済み

《課題及び対応方針》

策定した水安全計画の運用および検証を行い、水質事故への対応を適切に行います。

《事業実施状況及び補足説明等》

近年の環境や気候変動から、従来に考えられていたリスク以外にも、対策を講じる必要が生じてきています。安全で安心な水の供給を行うため、リスクに対して強靱な水安全計画策定の必要があります。
水安全計画は、WHO飲料水水質ガイドラインで確立されているHACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)の考え方を導入し、水源から給水栓に至るすべての段階で危害評価と危害管理を行い、安全な水の供給を確実にするシステムを構築するためのものです。

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 3-1

基本方針	安全	(2) 良好な水質の確保
実現方策	1) 配水池や管路の洗浄作業の促進	
計画に記載している 主な事業	■ 計画的な配水池の清掃の実施 ・ 計画的な水道管の洗浄作業の実施 赤水や濁りが発生している地域を対象に計画的に洗浄作業や配水池の清掃を行う。	
担当課	水道施設課(配水池)	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B

- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は、上野西部配水池、上野西部浄水場浄水池、伊賀第2配水池、古山配水池、桐ヶ丘高区配水池、桐ヶ丘低区配水池、朝古川配水池を潜水作業により清掃しました。

《課題及び対応方針》

水道施設(配水池)は65箇所あり、安全で安心な水を供給できるよう、計画的に配水池内部の清掃を行います。

《事業実施状況及び補足説明等》

- 来年度以降の配水池内部清掃予定

令和8年度 阿保第一配水池、阿保第二配水池、西山配水池、高倉低区配水池、高倉高区配水池、桜ヶ丘配水池、桂配水池
令和9年度 玉滝配水池、焼尾配水池、石川配水池、島ヶ原第1配水池RC、川南高架水槽、不見上高区高架水槽、不見上低区配水池

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 3-2

基本方針	安全	(2) 良好な水質の確保
実現方策		1) 配水池や管路の洗浄作業の促進
計画に記載している 主な事業		- 計画的な配水池の清掃の実施 ■ 計画的な水道管の洗浄作業の実施 赤水や濁りが発生している地域を対象に計画的に洗浄作業や配水池の清掃を行う。
担当課		水道工務課(管路)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は下記の地区にて水道管の洗浄業務を実施しました。
・荒木地内 VPφ50、VPφ75、VPφ100 総延長L=900m

濁りの発生が続いていた箇所においてアイスシャーベットとウォーターブラッシングによる洗浄業務を実施しました。

《課題及び対応方針》

洗浄業務を実施したことにより、濁りの発生頻度は低くなると考えられます。
しかし、数年で濁りの原因となる堆積物が発生する事が予想されるので、定期的に配水管内の状況確認を行ないます。

《事業実施状況及び補足説明等》

アイスシャーベットによる配水管内の洗浄を行い濁りの原因と思われる堆積物を除去することができました。
(写真は荒木地内で実施した状況写真です。)



用語説明

VP=塩化ビニル管、HVP=硬質塩化ビニル管、DC=ダクタイル鋳鉄管、L=洗浄作業をした距離

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 4

基本方針	安全	(3) 水源地域の保全
実現方策	1) 水源地域の環境保全の強化	
計画に記載している 主な事業	・水源地域の監視体制の強化 ・水源流域関係者との相互連携 水源流域の関係者を含めた監視の強化や相互連携を図り、水源水質の環境保全に努める。	
担当課	水道施設課	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B

- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

水質検査計画に基づき水道水源についての水質検査及び汚染の有無の確認を行い、水質状況を監視しました。

《課題及び対応方針》

本市では、27箇所の水道水源から取水を行い、浄水場において浄水処理を行った後に水質検査により安全性を確認し、各家庭へ給水を行っています。水道水源について1週間に1回以上は、全ての取水地点において目視による監視を行っています。

なお、ゆめが丘浄水場の取水地点となる木津川水源では、1日1回の目視による監視と、ゆめが丘浄水場における木津川水源監視カメラにより常時監視を行っています。

《事業実施状況及び補足説明等》

水道水源の水質検査については、毎年「水質検査計画」を策定し、安全性の確認を行っています。この計画は、水源の状況をふまえ年度ごとに見直しを行い、毎年事業年度の開始前に策定しています。

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

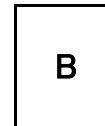
シート番号 5-1

基本方針	強靱	(1) 水道施設の耐震化
実現方策	1) 施設・管路の耐震化	
計画に記載している 主な事業	■ 施設・管路の耐震化 老朽管更新に伴う管路耐震率の向上 管路耐震化事業や老朽管路更新事業を行い、管路耐震化率向上に努める。	
担当課	水道施設課(施設)	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

水道施設の耐震化工事は平成23年度から実施しています。
令和7年度は実施事業はありません。

《課題及び対応方針》

令和4年度末のデータによると、三重県内の各市町村における水道施設の耐震化率の平均は、浄水場耐震化率が68.9%(浄水施設能力率)、配水池耐震化率が73.3%です。
本市においては、浄水場耐震化率が75.8%(浄水施設能力率)、配水池耐震化率が88.7%となっており、三重県内の各市町村の平均と比較すると、高い耐震化率を実現しています。
今後は、伊賀市水道事業基本計画に基づき、老朽化した施設の統廃合を進めることで耐震化率を向上させ、安全でおいしい水道水を安定的に供給できるよう努めます。

《事業実施状況及び補足説明等》

●令和7年度水道施設耐震化状況

浄水場16箇所のうち、耐震化した施設9箇所(56.3%)、浄水能力に対する耐震化率75.8%
配水池65箇所のうち、耐震化した施設50箇所(76.9%)、配水池容量に対する耐震化率88.7%

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

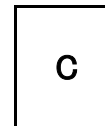
シート番号 5-2

基本方針	強靱	(1) 水道施設の耐震化
実現方策		1) 施設・管路の耐震化
計画に記載している 主な事業	■ 施設・管路の耐震化 ■ 老朽管更新に伴う管路耐震率の向上 管路耐震化事業や老朽管路更新事業を行い、管路耐震化率向上に努める。	
担当課	水道工務課(管路)	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は山畑、川東、桐ヶ丘二丁目、上阿波、蓮池地内において合計0.9kmの送水管路や配水管路の更新と耐震化を実施しました。

管種別内訳

ポリエチレン管・ステンレス鋼管・ダクトイル鋳鉄管 0.9km
各戸給水 46戸

《課題及び対応方針》

事業費の高騰により管路の更新延長が伸び悩んでいることが現状です。
水道管の大半を占める配水支管を更新する補助事業が少なく、補助率も低いため、今まで以上に事業費用の確保が困難となっています。

そのため、経済的で比較的安価な耐震管を採用するなど、コストの縮減を図り、更新延長を伸ばす等の対策が必要です。

《事業実施状況及び補足説明等》

●主な耐震管の種類

・ダクトイル鋳鉄管(NS形・GX形)

大きな伸縮性及び可とう性をもつ継手であり、受け口と挿し口がかかり合って離脱防止の役目をします。

耐震性・耐久性に優れ、熱に強く、工事費用は高額です。

伊賀市ではφ200以上の水道管で使用しています。

製品の規格によりGX形はφ200～φ400、NS形はφ500以上の水道管で使用しています。

・ポリエチレン管

水道配水用ポリエチレン管とポリエチレン1種2層管があり、前者はφ150以下の比較的小口径の水道管で使用し、1種2層管に比べ耐震性・耐久性に優れ、比較的熱にも強いです。

また、ダクトイル鋳鉄管に比べ、工事費が安価です。

・ステンレス鋼管

ステンレス鋼管は水管橋で使用し、靱性が高く地震の揺れを吸収でき、軽量で慣性力も小さいのが特徴です。

溶接接合により継手の抜けや漏水も防げるため、水管橋の耐震管として優れた性能を発揮します。

《数値目標の達成状況》

項目①	管路の耐震化率(%)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	10.0
	5.8	8.2	10.8	13.2	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

【算出式】(耐震管延長/管路総延長)×100

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	7.1	8.1	8.6	8.9	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

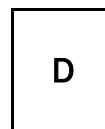
シート番号 6

基本方針	強靱	(1) 水道施設の耐震化
実現方策		2) 水道施設耐震化計画の策定
計画に記載している 主な事業		・水道施設耐震化計画の策定 耐震化計画策定指針に基づき、令和3年度末までに水道施設耐震化計画を策定し、重要施設や基幹管路などの優先順位を決め、効率的に耐震化に努める。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

本年度実施した事業はありません。

《課題及び対応方針》

令和4年度末のデータによると、三重県内の各市町村における水道施設の耐震化率の平均は、浄水場耐震化率が68.9%(浄水施設能力率)、配水池耐震化率が73.3%です。
本市においては、浄水場耐震化率が75.8%(浄水施設能力率)、配水池耐震化率が88.7%となっており、三重県内の各市町村の平均と比較すると、高い耐震化率を実現しています。
については、浄水場他その他施設の耐震化計画については、積極的に施設の統廃合を加味し、アセットマネジメント計画や次期伊賀市水道事業基本計画に基づいた耐震化計画の策定を検討します。

《事業実施状況及び補足説明等》

●令和7年度水道施設耐震化状況

浄水場16箇所のうち、耐震化した施設9箇所(56.3%)、浄水能力に対する耐震化率75.8%
配水池65箇所のうち、耐震化した施設50箇所(76.9%)、配水池容量に対する耐震化率88.7%

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 7

基本方針	強靱	(2) 水道施設の計画的更新
実現方策		1) 管路管理システムの充実
計画に記載している 主な事業		・管路管理システムのバージョンアップ 正確な状況把握及び効率的な更新計画の立案や適切な維持管理に必要な情報を共有化するため、 管路管理システムのバージョンアップを図る。
担当課		水道工務課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

上下水道マップ(いがマップ)として管路管理システムの公開向け管路情報をホームページで閲覧を開始しました。
管路情報システムと現地との整合性を図り、情報の精度を高めるため、現地調査による仕切弁の開閉状況や深度の情報2,867件、新規給水申込等による給水情報448件、修繕工事による属性不明箇所等の情報50件を取得しシステム整備を行いました。

《課題及び対応方針》

施工時期が古く情報取得(工事資料や布設時期等が不明)が困難な箇所があります。
過去に修繕や小規模工事を行った履歴の資料も再度確認し、属性不明箇所の解消に取り組みます。
不明な箇所については、一覧表に整理し取りまとめます。

《事業実施状況及び補足説明等》

○管路の不明属性解消
計画準備、資料収集整理、竣工図調査、不明点協議、修正入力、整合検査

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 8-1

基本方針	強靱	(2) 水道施設の計画的更新
実現方策		2) 老朽化施設の対策
計画に記載している 主な事業		・施設・管路の計画的な更新 (施設) 耐用年数を迎える浄水場について、水源状況、施設規模、維持管理等の状況を考慮し運用廃止とする。 (管路) 更新周期を超過する管路の早期更新に努める。
担当課		水道施設課(施設)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

C

- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度に玉滝浄水場の運用を廃止しました。
朝古川浄水場の廃止を見込み、同浄水場の配水エリアの一部をゆめが丘浄水場系の配水エリアに変更しました。

《課題及び対応方針》

運用を廃止することが可能な老朽化した施設は、優先順位を付け順次廃止を行います。

《事業実施状況及び補足説明等》

朝古川浄水場の廃止を見込み、同浄水場の配水エリアの一部をゆめが丘浄水場系の配水エリアに変更する予定です。

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

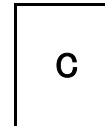
シート番号 8-2

基本方針	強靱	(2) 水道施設の計画的更新
実現方策	2) 老朽化施設の対策	
計画に記載している 主な事業	・施設・管路の計画的な更新 (施設) 耐用年数を迎える浄水場について、水源状況、施設規模、維持管理等の状況を考慮し運用廃止とする。 (管路) 更新周期を超過する管路の早期更新に努める。	
担当課	水道工務課(管路)	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は、伊賀市老朽管更新計画に基づき、更新周期を超過する管路の中から、濁水や漏水が多発する箇所を優先的に山畑、川東、桐ヶ丘二丁目、上阿波、蓮池地内において合計0.9kmの管路を更新しました。

《課題及び対応方針》

今後は、経年劣化する管路が増加し、更新が追いつかなくなると想定されます。国の補助事業などを活用し、必要な予算の確保に努め、管種を比較的安価なものに変更しながら更新延長を伸ばす等の対策を講じつつ、重要性を考慮した更新箇所の選定を行い、管路の更新に取り組めます。

《事業実施状況及び補足説明等》

本市水道事業は、現在、約1,370kmの管路を管理しています。
 管路の法定耐用年数は40年であり、年数を経過した管路を中心に更新を進めています。年数を経過した管路は、経年劣化による漏水や濁水が発生する危険性が高まります。そのため、部分的な補修や定期的な洗管作業を実施し、耐用年数の延伸を図りながら、正確な現状把握と効率的な管路更新を進めていきます。

管工事の状況



《数値目標の達成状況》

項目①	管路の更新率(%)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	0.1
	0.3	0.3	0.5	0.5	

【算出式】(更新された管路延長/管路総延長)×100

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	0.3	1.0	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	

	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
項目①					

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 9

基本方針	強靱	(2) 水道施設の計画的更新
実現方策		3) 統廃合を含めた計画的な施設の再構築(挑戦)
計画に記載している 主な事業		・施設の統廃合計画(阿保浄水場及び滝川浄水場の縮小更新) 水源状況が不安定な施設、老朽化した施設などの廃止若しくは縮小更新を検討を行い、伊賀広域水道時の施設・管路の有効活用を図る。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》

B

- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は昨年に引き続き阿保浄水場の急速ろ過機1基の縮小更新を行いました。

《課題及び対応方針》

伊賀市水道事業基本計画に基づき阿保浄水場及び滝川浄水場の更新工事を計画しています。
今後、老朽化した浄水場の長寿命化を図りながら将来の給水人口減少に伴う1日当たりの浄水処理量の見直しによる施設の縮小更新について検討を行い計画を立案します。

《事業実施状況及び補足説明等》

- 阿保浄水場
 - ・建設年度 1982(昭和57)年
 - ・浄水処理方法 急速ろ過
 - ・浄水処理能力 2030m³/日
 - ・現在の浄水処理量 1100～1400m³/日



(阿保浄水場)

- 滝川浄水場
 - ・建設年度 1975(昭和50)年
 - ・浄水処理方法 急速ろ過
 - ・浄水処理能力 8030m³/日
 - ・現在の浄水処理量 3000～4500m³/日



(滝川浄水場)

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

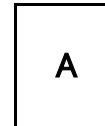
シート番号 10

基本方針	強靱	(3) 危機管理体制の充実
実現方策	1) 応急給水施設の準備対応	
計画に記載している 主な事業	・非常用給水装置を設置 水道施設の保全、素早い応急給水の実施のため、容量の大きい配水池(1,000m ³ 以上)の施設において、非常用給水装置の設置を進める。	
担当課	水道施設課	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は、実施した事業はありません。

《課題及び対応方針》

1,000m³以上の配水池について、緊急遮断弁はほぼ設置済みであり、未実施となっている北部配水池や島ヶ原第1配水池については、有事の際は代替策として、小田浄水場内、島ヶ原加圧ポンプ所で応急給水を実施することとして対応します。

《事業実施状況及び補足説明等》

緊急遮断弁は地震等の災害により配水管が破損した時に、配水池内の水道水の流出防止及び非常時の水道水の使用を考慮し配水池内の貯留を目的に設置をしています。

- 令和7年度末緊急遮断弁設置状況
配水池65箇所のうち、緊急遮断弁設置配水池20箇所(30.7%)
配水池容量に対する設置率79.2%
配水池(容量1000m³以上)17箇所のうち、緊急遮断弁設置配水池14箇所(82.3%)



緊急遮断弁

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

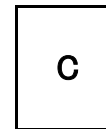
シート番号 11

基本方針	強靱	(3) 危機管理体制の充実
実現方策		2) 重要給水施設の整備
計画に記載している 主な事業		・重要給水拠点までの管路の耐震化 災害時においても重要給水施設への給水を確保できるよう計画的に整備を行う。
担当課		水道工務課(管路) 水道施設課(施設)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
- B 計画どおり進んでいる
- C 着手したが遅れている
- D 未着手

《本年度の実施内容》

伊賀市地域防災計画に位置付けられている医療施設、防災拠点施設、拠点避難所のうち56箇所を重要給水施設として選定しており、各施設毎の更新対象管路を導水管、送水管、配水本管、配水支管別に抽出し、令和13年度までの年度計画に準じて耐震化を進めています。
令和7年度では、上野総合市民病院工区の耐震化工事に伴う舗装工事及び市役所工区内の耐震化詳細設計業務を実施しました。

《課題及び対応方針》

配水支管だけではなく、導水管、送水管、配水本管、配水池等を含めた整備が必要となるため、多額の費用と相当な整備期間を要します。
施設の重要度や、管路の老朽度、地域バランスなどを総合的に判断して整備順序を決定する必要があります。
今後は、補助事業の活用や比較的安価な材料の使用など財源確保と経費節減を図りながら、災害時においても給水を確保できるよう計画的に整備を進めていきます。

《事業実施状況及び補足説明等》

令和2年度から令和13年度までの12年間で、20施設への管路の耐震化を総事業費約45億円で計画しています。
56施設のうち、8施設への管路の一部については耐震化済みです。

- 令和7年度実施工区
上野総合市民病院工区(舗装工事) A=7,800㎡
市役所工区(詳細設計業務委託)小口径推進工法 N=1業務

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 12

基本方針	強靱	(3) 危機管理体制の充実
実現方策	3) 災害時対応の整備・充実(連携)	
計画に記載している 主な事業	・災害時の連携強化 災害発生時等の危機管理マニュアルを充実させるなど、管理体制の強化を図るとともに、定期的な合同訓練を実施するなど、近隣事業体や県等との連携強化を図る。 広報活動などによって、積極的に情報発信を行う。	
担当課	経営企画課	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

三重県、(公社)日本水道協会中部地方支部、伊賀市上下水道協同組合との間で締結した災害時の応援協定に基づき、引き続き地震等の大規模な災害発生時における早期復旧等に向けた体制を継続しました。
また、例年行われる(公社)日本水道協会中部地方支部の応援協定に基づく応援要請等に係る情報伝達訓練に参加しています。

《課題及び対応方針》

より迅速かつ適切に応急復旧活動を実施できるよう、既存の災害対策マニュアルの再点検及び更新を行うとともに、日頃の対応訓練の実施等により、管理体制のさらなる強化を図っていきます。
また、広域連携として、近隣事業体との合同訓練や災害対策の実施等についても検討していく必要があります。

《事業実施状況及び補足説明等》

●関係団体との協定

- ・三重県水道災害広域応援協定
地震、渇水、事故等の水道災害時における県内市町及び水道用水供給事業者が行う応援活動
- ・公益社団法人日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定
中部地方9県支部間における相互応援活動
- ・災害時における水道施設の緊急復旧工事等に関する基本協定
伊賀市上下水道部と伊賀市上下水道協同組合による災害応急工事の施工等

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 13

基本方針	持続	(1) 水源の安定化
実現方策	1) ゆめが丘浄水場を最大限に活用した水源施設の統廃合	
計画に記載している 主な事業	・水源施設の統廃合 伊賀広域水道施設を最大限活用し、小規模な水源施設は運用廃止して統廃合を行うことにより、効率的かつ適正な施設管理ができるため、水源施設の統廃合を進める。	
担当課	水道施設課	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》

C

- A 実施済み
- B 計画どおり進んでいる
- C 着手したが遅れている
- D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度に玉滝浄水場の運用を廃止しました。

《課題及び対応方針》

表流水を取水している小規模な水源施設が多く、通常時は良好な水質を保っていますが、取水量の不安定な時期があることや、大雨や台風等の自然災害時には、原水水質の悪化が見られ、濁度上昇による薬品注入管理に支障をきたしています。

ゆめが丘浄水場を最大限に活用し小規模な水道施設は運用停止して統廃合を行うことにより、効率的かつ適正な施設管理を行います。令和7年度は、玉滝浄水場の運用を廃止しました。

また、今後の朝古川浄水場の廃止を見込み、同浄水場の配水エリアの一部をゆめが丘浄水場系の配水エリアに変更をする予定です。

《事業実施状況及び補足説明等》

●令和8年度以降水道施設廃止予定

令和8年度以降 運用廃止予定 剣谷浄水場(剣谷水源)
 令和9年度以降 運用廃止予定 朝古川浄水場(朝古川水源、岡鼻水源)

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

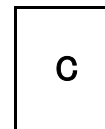
シート番号 14

基本方針	持続	(2) 資源・エネルギーの有効利用
実現方策		1) 省エネルギーの効率的機器の採用
計画に記載している 主な事業		・高効率・省エネルギー機器の採用 施設の更新時に、高効率・省エネルギー機器を積極的に採用することや、水需要に応じた施設能力の縮小を検討する。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

ゆめが丘浄水場は平成21年4月より運用を開始し、省エネルギー機器である高効率ポンプを使用しています。
令和7年度は小田浄水場北部配水池向送水ポンプ1基の更新、ゆめが丘浄水場のゆめが丘浄水場南向送水ポンプ、ゆめが丘浄水場北向3号送水ポンプの2基、ゆめが丘導水ポンプ所3号ポンプ基の1機の分解整備を実施しました。

《課題及び対応方針》

ゆめが丘浄水場から上野第1(南部)配水池、上野南送水ポンプ所、島ヶ原中継ポンプ所、上野北送水ポンプ所へ向け高効率・省エネルギーポンプを使用して送水を行っています。
安定した給水を確保し、さらなる省エネルギー化を図るため高効率ポンプの設置を検討します。

《事業実施状況及び補足説明等》



ゆめが丘浄水場 高効率ポンプ

- 高効率ポンプ設置状況

導水ポンプ場	4 台
ゆめが丘浄水場	6 台
上野南送水ポンプ所	4 台
青山送水ポンプ所	2 台
島ヶ原中継ポンプ所	2 台
上野北送水ポンプ所	3 台
伊賀加圧ポンプ所	2 台

《数値目標の達成状況》

項目①	配水量1㎡当たり電力消費量(kWh/㎡)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	0.88
	0.78	0.75	0.75	0.70	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

【算出式】全施設の電力使用量/年間配水量

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	0.80	0.81	0.84	0.85	0.87	0.88	0.85	0.85	0.88	
	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)					
項目①										

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

			シート番号	15
基本方針	持続	(2) 資源・エネルギーの有効利用		
実現方策		2) エネルギー消費の少ない水道の構築		
計画に記載している 主な事業		・総エネルギー消費量を抑制できる配水形態の検討 施設の統廃合による配水ブロックの再編や施設規模の縮小を考慮しながら、総エネルギー消費量を抑制できる配水形態の検討を行う。		
担当課		水道施設課		

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

C	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度に玉滝浄水場の運用を廃止しました。
朝古川浄水場の廃止を見込み、同浄水場の配水エリアの一部をゆめが丘浄水場系の配水エリアに変更しました。

《課題及び対応方針》

令和8年度以降も引き続き、施設の統廃合による配水ブロックの再編成に向け準備を進め、総エネルギー消費量を抑制できる配水形態を目指します。

《事業実施状況及び補足説明等》

- 令和8年度以降配水ブロック再編成予定
- 令和8年度以降 運用廃止予定 剣谷浄水場(剣谷水源)
令和9年度以降 運用廃止予定 朝古川浄水場(朝古川水源、岡鼻水源)

《数値目標の達成状況》

項目①	排水量1㎡当たり二酸化炭素排出量(g・CO2/㎡)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況	前期	中期	後期	353.3
	2014(H26)	2021(R3)	2026(R8)	2031(R13)	
	291.48	280	280	260	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況	前期	中期	後期	—
	2014(H26)	2021(R3)	2026(R8)	2031(R13)	
	—	—	—	—	

【算出式】(総二酸化炭素排出量/年間配水量) × 1,000,000

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	384	383.1	399.2	392.3	369.3	384.0	374.4	358.9	353.3	

	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
項目①					

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

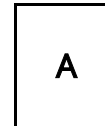
シート番号 16

基本方針	持続	(2) 資源・エネルギーの有効利用
実現方策		3) 再生可能エネルギーの導入の検討
計画に記載している 主な事業		・太陽光発電や小水力発電の導入の検討 太陽光発電や小水力発電など、再生可能エネルギーの導入の検討を行う。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

ゆめが丘浄水場は、平成21年4月より運用を開始し、太陽光発電の再生エネルギーを浄水場の電力として利用しています。

《課題及び対応方針》

ゆめが丘浄水場において引き続き太陽光発電の運用を継続し、再生エネルギー利用を促進します。
小水力発電等の他の再生可能エネルギーの利用については、費用対効果が得られないことから検討対象から除外しました。

《事業実施状況及び補足説明等》

●ゆめが丘浄水場太陽光発電状況

平成30年度	太陽光発電量(kwh):	166,417
令和元年度	太陽光発電量(kwh):	163,576
令和2年度	太陽光発電量(kwh):	168,840
令和3年度	太陽光発電量(kwh):	165,252
令和4年度	太陽光発電量(kwh):	171,231
令和5年度	太陽光発電量(kwh):	172,292
令和6年度	太陽光発電量(kwh):	167,776
令和7年度	太陽光発電量(kwh):	175,354



ゆめが丘浄水場 太陽光発電

《数値目標の達成状況》

項目①	再生可能エネルギー利用率(%)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	1.50
	1.55	1.70	1.85	2.00	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

【算出式】(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量)×100

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	1.49	1.45	1.39	1.41	1.37	1.39	1.47	1.45	1.50	

	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
項目①					

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

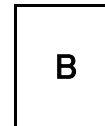
シート番号 17-1

基本方針	持続	(2) 資源・エネルギーの有効利用
実現方策		4) 廃棄物の削減
計画に記載している 主な事業		■ 浄水発生土の有効活用 ・ 建設副産物の利用促進 浄水発生土の利用促進や配管工事における再生材や仮設資材の採用等、廃棄物の排出抑制を推進する。
担当課		水道施設課(施設)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

令和7年度は、浄水処理に伴い発生する浄水発生土について、再生資源化処理が行える業者に処分委託することで建設副産物の再利用に努めました。

《課題及び対応方針》

浄水発生土は産業廃棄物であり処理費用が高額となることから、より安価な有効活用の検討を行うとともに、浄水発生汚泥の抑制に努めていきます。

《事業実施状況及び補足説明等》

浄水発生土は水道原水に浄水用の薬品を加えることにより、原水に浮遊する砂、泥等が固まり、天日乾燥床において乾燥させ、固形の物体となる産業廃棄物です。

●ゆめが丘浄水場・滝川浄水場浄水発生土処分量

令和2年度 浄水発生土処分量(t): 2, 981
令和3年度 浄水発生土処分量(t): 1, 539
令和4年度 浄水発生土処分量(t): 875
令和5年度 浄水発生土処分量(t): 716
令和6年度 浄水発生土処分量(t): 599
令和7年度 浄水発生土処分量(t): 501



ゆめが丘浄水場 天日乾燥床

《数値目標の達成状況》

項目①	浄水発生土の有効利用率(%)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	0
	0	10	20	30	

【算出式】(有効利用土量/浄水発生土量) × 100

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)					
項目①										

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 17-2

基本方針	持続	(2) 資源・エネルギーの有効利用
実現方策		4) 廃棄物の削減
計画に記載している 主な事業		- 浄水発生土の有効活用 ■ 建設副産物の利用促進 浄水発生土の利用促進や配管工事における再生材や仮設資材の採用等、廃棄物の排出抑制を推進する。
担当課		水道工務課(管路)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

管路工事により排出される廃棄物について、請負業者から提出される再生資源利用促進計画書、実施書及びマニフェスト等により、アスファルト及びコンクリートの再資源化施設への処分を確認し、再資源化に努めました。
また、管路布設の浅層埋設により、建設発生土の抑制を推進しました。

《課題及び対応方針》

現在の実施内容で継続していきます。

《事業実施状況及び補足説明等》

管路工事により排出される建設発生土の公共工事間の流用調整を図ると共に、配管工事における埋め戻し骨材の再生材使用による廃棄物の排出抑制に努めています。

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

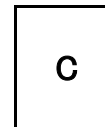
シート番号 18

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		1) 有収率の向上
計画に記載している 主な事業		・有収率の向上対策(定期的な漏水調査、配水圧力の調整、老朽管の布設替え) 漏水調査や管路更新事業を計画的に取り組み、有収率の向上に努める。
担当課		水道工務課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

現地漏水調査業務委託や職員による自己漏水調査、市民のみなさまから連絡を頂いた漏水通報による、送・配・給水管漏水を延べ259件修繕しました。また、インターネットで位置情報を利用して漏水等の通報が出来るように、上下水道通報投稿アプリの運用をホームページにて開始しました。

《課題及び対応方針》

老朽管路の布設替えが必要な箇所を把握し、更新事業担当係と連携を図り早期に対応します。また、漏水の疑いがある配水池エリアにおいて漏水調査業務委託を実施し、修繕を順次実施します。

《事業実施状況及び補足説明等》

漏水修繕件数

市内全域:259件
送水管: 1件
配水管:104件
給水管:154件



漏水修繕の様子

《数値目標の達成状況》

項目①	有収率(%)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	81.4
	81.9	83.9	85.7	87.6	

【算出式】(有収水量/給水量)×100

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	81.4	81.7	82.5	82.9	83.2	80.8	80.1	80.3	81.4	
	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)					
項目①										

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

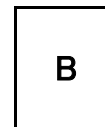
シート番号 19-1

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策	2) 民間的経営手法の活用検討	
計画に記載している 主な事業	・民間的経営手法の範囲拡大の検討 熟練職員の減少の課題に対応しつつ、経営の効率化を進めていくため、民間的経営手法の活用について、調査及び検討を行う。	
担当課	水道施設課(施設)	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

本年度の実施事業はありません。

《課題及び対応方針》

水道施設の運転管理業務について、さらなる民間手法の活用の検討を進めていきます。
また、包括的民間委託については、求める管理品質に対して高コストとなることから、財政状況や費用対効果を考慮し、検討から除外しました。

《事業実施状況及び補足説明等》

●ゆめが丘浄水場他運転管理業務委託概要

夜間、閉庁日における、ゆめが丘浄水場他伊賀市内の上水道施設の運転管理業務及び電話対応業務
(対象水道施設:136施設)

夜 間 17時15分から翌日8時30分まで
閉庁日(休日) 8時30分から17時15分まで

【業務内容】

- 1)ゆめが丘浄水場運転管理業務
- 2)伊賀市内上水道施設監視および維持管理業務
- 3)電話等対応業務

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

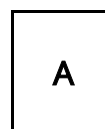
シート番号 19-2

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		2) 民間的経営手法の活用検討
計画に記載している 主な事業		・民間的経営手法の範囲拡大の検討 熟練職員の減少の課題に対応しつつ、経営の効率化を進めていくため、民間的経営手法の活用について、調査及び検討を行う。
担当課		経営企画課(営業係)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

水道料金関連業務の顧客サービスの向上、業務の効率化及びコスト削減を目的として、民間に委託を行っております。令和6年4月から、窓口の一元化、市民サービス向上の観点から水道料金に加え下水道使用料関連業務も委託し、「水道お客様センター」から「上下水道お客様センター」とすることで、更なる顧客サービスの向上と業務効率化を図ります。

《課題及び対応方針》

令和6年4月から、上下水道事業料金関連業務委託として窓口を一元化し、上下水道一体となって債権回収に取り組み滞納額の縮減を目指します。
また、3期末納の使用人や分納誓約者の不履行使用者を対象に給水停止を徹底することや、督促や催告に応じない場合は、早期に収税課へ債権移管などの措置を講じることで、新たな未納者の発生を防ぎます。

《事業実施状況及び補足説明等》

伊賀市上下水道事業料金関連業務委託
委託期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日 5年間

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

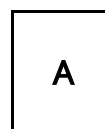
シート番号 19-3

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		2) 民間的経営手法の活用検討
計画に記載している 主な事業		・民間的経営手法の範囲拡大の検討 熟練職員の減少の課題に対応しつつ、経営の効率化を進めていくため、民間的経営手法の活用について、調査及び検討を行う。
担当課		経営企画課(包括的民間委託)

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
- B 計画どおり進んでいる
- C 着手したが遅れている
- D 未着手

《本年度の実施内容》

市民サービスの向上の観点から、維持管理における技術水準の維持・継続、維持管理体制の確保、各種業務の効率化、コスト縮減などを目的として、令和6年度からの包括的民間委託の実施を検討してきましたが、上下水道を一体とした民間委託は費用対効果を生み出すことができませんでした。しかしながら、上下水道事業における一部業務(窓口業務及び維持管理業務)については、民間委託することで、サービスを向上させることができました。

《課題及び対応方針》

水道施設に関しては、現在、会計年度任用職員において直営管理しています。検討結果では、直営管理に係る人件費に対し、追加する委託管理費用が甚大であることに加え、受益面積が広く施設が点在しており、受益者数に対し施設数が過多であることから、包括的民間委託による費用対効果を生まない結果となりました。
以上のことから、各種施設が点在していることに加え、給水人口に対し施設数が過剰であることが問題となっています。したがって、包括的民間委託による費用対効果が得られるよう、施設統廃合の推進を課題と考えています。

《事業実施状況及び補足説明等》

伊賀市上下水道事業料金関連業務委託
委託期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日 5年間

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

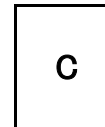
シート番号 20

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		3) 適切な施設管理
計画に記載している 主な事業		・適切な施設管理(施設運転情報のデータ整理、分析) 遠方監視システムや集中管理体制の導入を図るとともに、各地区の施設運転情報を集約化、データ整理及び分析を行い、日常管理の適正化を図る。
担当課		水道施設課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

本年度の実施事業はありません。

《課題及び対応方針》

ゆめが丘浄水場に設置されている5社5系列の中央監視システムは、平成16年度の市町村合併以前より各自治体で設置したシステムをそのまま継承しており、システムが複雑であり、さらに老朽化が進み維持管理に苦慮しています。
令和7年度より国庫補助を活用して現状5系統あるシステムを2系統に統合及びデジタル通信化することにより、現在の管理水準を維持しつつ、ランニングコスト等の縮減と効率化を図るため合理化を行います。

《事業実施状況及び補足説明等》

令和8～10年度で中央監視システムの伊賀・阿山系列について統合工事を実施予定、ゆめが丘系列他残りの系列についても統合工事を実施予定。

《数値目標の達成状況》

項目①	職員一人当たりの配水量(m ³ /人)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	333,613
	255,636	325,775	314,273	300,412	

【算出式】年間配水量／全職員数

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	327,318	314,155	330,809	324,316	328,278	338,817	334,484	330,624	333,613	
	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)					
項目①										

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

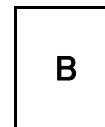
シート番号 21

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		4) 広域化連携の模索
計画に記載している 主な事業		・他水道事業との連携の模索 県の事業間調整機能等を活用し、将来の発展的広域化を見据え、協力・連携が可能な分野・項目を検討する。
担当課		経営企画課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

県内の地域ブロックによる広域連携検討の場として三重県が主催する「伊賀地域水道事業基盤強化協議会」へ参加し、伊賀地域ブロックを構成する名張市との広域連携の可能性や手法等について情報共有や意見交換を行いました。また、水質検査部門において、令和8年度の連携実施に向けた名張市との検討協議に着手しました。

《課題及び対応方針》

水道事業の抜本的な改革方策の一つである広域化は、コスト削減と人員の確保などに大きなメリットを期待されていますが、事業者間での施設整備状況や料金、財政規模の格差、地理的要因など、その実現については多くの課題があります。

本市では、三重県企業庁からの水道水供給を受けていないこともあり、近隣事業体から見た場合、広域化のメリットを共有しにくい状況にあると考えられますが、水道事業の「広域化」は、一部の国庫補助事業の要件を満たすことで補助率を増加させる利点があります。三重県水道事業基盤強化協議会で得た情報や手法等も参考にしつつ、「広域化」のメリット、デメリットを整理し、実現の可能性について模索していく必要があります。

《事業実施状況及び補足説明等》

本市の広域化連携の相手先として、「名張市」のほか、近隣の「津市」「亀山市」「甲賀市」「笠置町」「南山城村」などが想定されます。他の自治体での取組事例等も参考としながら、持続可能な水道事業に向けた連携の可能性を研究する必要があります。

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

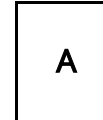
シート番号 22

基本方針	持続	(3) 経営基盤の強化
実現方策		5) アセットマネジメントの充実
計画に記載している 主な事業		・アセットマネジメント(資産管理)の充実 施設の健全性を維持し、効率的・計画的な施設の更新や維持管理を実現するため、平成25年度に 策定したアセットマネジメントの見直し(精度向上)を行う。
担当課		経営企画課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》



- A 実施済み
B 計画どおり進んでいる
C 着手したが遅れている
D 未着手

《本年度の実施内容》

アセットマネジメントの見直しに必要な水道施設台帳を整備したことにより、令和6年度において、アセットマネジメント計画を策定しました。

《課題及び対応方針》

伊賀市では、水道施設の老朽化が著しく、これに起因する漏水等のトラブルが日常的に生じています。このことから、施設の維持管理費用と共に更新需要が増大するため、これに充当する資金確保のための正確な費用計上が課題となっています。

このような状況を鑑みて、施設の重要度・疲労度等を勘案した優先度の設定及び更新費用等を算定し、中長期的財政収支に基づく計画的な施設の整備・更新と資金確保のための基礎となる「アセットマネジメント計画」を策定しました。

この計画により、更新費用の平準化とともにライフサイクルコストの縮減を図る方針ですが、現行の料金体系のままでは、今後著しく増大する老朽化への対応として、十分な更新費用を確保することが困難な状況です。

したがって、伊賀市における水道施設の抜本的な構造改革と共に料金制度の見直しが課題となっています。

《事業実施状況及び補足説明等》

●水道におけるアセットマネジメント

「水道事業におけるアセットマネジメントに関する手引き」では、「水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」と定義されています。

同手引きでは、資産に係る各種データの整備状況等により、更新需要見通しの検討手法をタイプ1～4、財政収支見通しの検討手法をタイプA～Dに分類、この組み合わせにより最も簡易なタイプ1ーAから最も詳細なタイプ4ーDまでの区分があり、40年先までのシミュレーションを行うこととなっています。伊賀市ではタイプ4ーDのアセットマネジメント計画を策定しました。

《「水道事業におけるアセットマネジメントに関する手引き」における検討手法の例》

- タイプ1ーC 固定資産台帳等、更新需要を算定するための基礎データがなく、財政収支の見通しとして収益的収支まで検討できている状態
- タイプ2ーC 固定資産台帳はあるが、資産区分が更新単位と整合しておらず、財政収支の見通しとして収益的収支まで検討できている状態
- タイプ3ーC 更新需要の基礎データが更新工事と整合しており、財政収支の見通しとして収益的収支まで検討できている状態
- タイプ4ーD 更新需要は廃止予定施設・構造物を除外し再構築や規模の適正化を考慮した再投資価格とし、財政収支の見通しとしては更新需要以外の変動要因を考慮した収益的収支まで検討できている状態

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 23

基本方針	持続	(4) 組織体制の強化
実現方策		1) 技術の継承
計画に記載している 主な事業		・内部及び外部研修の実施による技術力の向上 職場内や外部機関の研修に参加するなど、各職員の技術力向上に努める。 民間が有する技術を積極的に導入し、官民連携した技術の継承に取り組む。
担当課		水道施設課、水道工務課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

【水道施設課】
専門的技術を習得するため、電気保安講習会に参加しました。
【水道工務課】
専門的な知識や技術を取得する為、令和7年4月に開催された給水装置の設計審査についての研修会や、7月に開催された「水道技術講習会」、9月に開催された「水道事業担当者研修会」、10月に開催された「日本水道協会全国会議」に参加しました。

《課題及び対応方針》

【水道施設課】
水道施設の運転維持管理は専門的な技術が必要となるため、若手職員が外部研修に参加することで技術の継承を図ります。また、職員の高齢化が進んでおり、技術力をどのように維持・継承していくのかが課題となっています。
このことから、業務量に応じた適正な数の人員配置を行い業務の量と質を改善し、技術継承が行なえるよう取り組みます。
【水道工務課】
職員数の減少の影響で、専門的知識や技術力をどのように維持・継承していくのかが課題となっています。
有効な研修会に参加することや外部委託を有効活用し、少ない職員でも業務の質を確保し、専門的知識・技術力の継承が行えるよう取り組みます。

《事業実施状況及び補足説明等》

【水道施設課】令和7年度研修参加状況(職員数10名)
電気保安講習会:参加者 2名 研修時間 2時間/人
玉掛け業務特別教育:参加者 2名 研修時間 12時間/人
水質管理研修(精度管理技術検討会):参加者 2名 研修時間 8時間/人
日本水道協会中部地方支部研究発表会:参加者 2名 12時間/人
【水道工務課】令和7年度研修参加状況(職員数9名)
給水装置入門(給水装置の設計審査編)web:参加者 2名 研修時間 2時間/人
水道技術講習会(能登半島地震他):参加者: 2名 研修時間 6時間/人
専用水道・簡易専用水道担当者研修会(web講習会):参加者 2名 研修時間 4時間/人
日本水道協会全国会議(広島市):参加者 2名 研修時間 6時間/人

《数値目標の達成状況》

項目①	内部研修時間(時間)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	4
	0.0	2.0	4.0	6.0	

【算出式】職員が内部研修を受けた時間・人数/全職員数

項目②	外部研修時間(時間)				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	5.5
	1.8	4.0	8.0	12.0	

【算出式】職員が外部研修を受けた時間・人数/全職員数

	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
項目①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
項目②	1.4	1.4	1.4	0.7	2.3	4.7	6.4	4.5	5.5	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 24

基本方針	持続	(4) 組織体制の強化
実現方策		2) 人材の育成と配置
計画に記載している 主な事業		・人材の育成と適切な配置 持続的な水道事業の運営を行うため、長期的視点に立って職員教育を充実させ、信念と意欲を持って管理運営に当たる有能な職員の育成と適正な配置に努める。
担当課		経営企画課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13

《進捗状況》

B

- A 実施済み
- B 計画どおり進んでいる
- C 着手したが遅れている
- D 未着手

《本年度の実施内容》

技術継承の観点から、若手技術職員の確保に向け、関係する学歴や職歴を持った人材の募集を引き続き行いました。

《課題及び対応方針》

技術継承や、事業全体のマネジメントに係る人材を確保していくためには、退職者の再任用や、他部署に異動した経験者の再配置等について、庁内の理解を求めていくことが必要と考えられますが、職員の高齢化が進みつつあることから、若手技術職員の配置を計画的に行っていくことなどにより、長期的な視点でバランスの取れた組織体制づくりに努めていく必要があります。

《事業実施状況及び補足説明等》

●水道事業に携わる職員数

平成29年度	34名(平均年齢46.2歳)
平成30年度	32名(平均年齢48.9歳)
令和元年度	31名(平均年齢48.0歳)
令和2年度	43名(平均年齢51.9歳)
令和3年度	42名(平均年齢51.5歳)
令和4年度	42名(平均年齢51.1歳)
令和5年度	44名(平均年齢51.3歳)
令和6年度	39名(平均年齢50.5歳)
令和7年度	39名(平均年齢51.7歳)

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 25

基本方針	持続	(5) お客さまサービスの向上
実現方策	1) 啓発活動の推進	
計画に記載している 主な事業	・イベント等の開催 水道週間に環境・社会学習の取り組みやイベント等を開催して啓発活動を行うことで、お客さまの節水に対する取り組みと意識の向上を図る。	
担当課	経営企画課	

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B

- A 実施済み
- B 計画どおり進んでいる
- C 着手したが遅れている
- D 未着手

《本年度の実施内容》

水道週間の期間中、ゆめが丘浄水場においてPR横断幕及び立看板を設置しました。
 なお、水道週間における取り組みとして平成29年度より開催してきた、ゆめが丘浄水場見学会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度まで中止していましたが、令和5年度から再開しました。
 また、昨年に引き続き「市民夏のにぎわいフェスタ2025」に参加し、水道事業の啓発に努めました。

《課題及び対応方針》

普段使用している水道水が作られる過程を実際に見て体験していただく浄水場見学会は、水道に対する意識啓発の手法として効果的であることから、方向性としては今後も継続したいと考えていますが、一方で、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した啓発手法についても検討していく必要があります。

《事業実施状況及び補足説明等》

《水道週間PR横断幕等の設置》



●水道週間

国や地方自治体の水道事業体等による、様々な広報活動等の運動を通して、水道についての国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るため、厚生労働省の主唱により毎年6月1日から6月7日までを期間として実施されている週間。

令和7年度(第67回)の水道週間スローガン
 「透き通る 誇れる水に 感謝する」

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

令和7年度 伊賀市水道事業基本計画(水道事業ビジョン) 進捗管理シート

シート番号 26

基本方針	持続	(5) お客さまサービスの向上
実現方策		1) お客さまとの連携の促進(連携)
計画に記載している 主な事業		・水道事業者とお客さまとの連携 水道事業に関する情報をわかりやすく提供する。 大規模地震災害等の非常時において円滑な対応が行えるよう、お客さまとの連携の取り組みに努める。
担当課		経営企画課

《計画上の実施年度》

前期					中期					後期				
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13

《進捗状況》

B	A 実施済み
	B 計画どおり進んでいる
	C 着手したが遅れている
	D 未着手

《本年度の実施内容》

水質検査の結果や、冬場の水道管凍結防止に関するお知らせなど、お客さまに水道を使っていただくに当たっての有用な情報を市のホームページや広報を通じて引き続き提供しました。
また、断水や濁水発生等の非常時における、対象区域での広報活動や、給水車による応急給水について、迅速な対応に努めました。

《課題及び対応方針》

当該年度に実施予定の事業の紹介や、実施後の進捗状況なども含めた情報提供のさらなる充実を図る必要があります。
大規模災害等の非常時における円滑な対応に向けた取り組みについては、広域的かつ長期の被害が想定される中、市民生活への影響を最小限に止めるため、まずは地域やお客さまとどのような連携ができるかを模索していく必要があります。

《事業実施状況及び補足説明等》

- 広報いが市での情報提供
「水道管の冬支度をしましょう」(1月号)
- ホームページでの主な情報提供
「経営比較分析表の公表について」
「給水窓口の事前予約(インターネット受付)について」
「水道使用開始(中止)届(電子申請サービス)」
「水道事業会計決算書」
「水道管の埋設状況(道路の本管)に関するお問合わせについて」 など

《数値目標の達成状況》

項目①	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	

項目②	—				2025(R7)年度 実績値
目標	現況 2014(H26)	前期 2021(R3)	中期 2026(R8)	後期 2031(R13)	—
	—	—	—	—	